



2021-2022年度R.I.テーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2900回 例会
2021. 11. 25

会長あいさつ



2021-2022年度 齋藤 修弘会長

週報 No.2180
発行 2021年12月2日

2021-2022年度
会長 齋藤 修弘
幹事 長沼 大策
副会長 深澤 圭司
副幹事 門崎 由幸
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 横山 泰史

行事予定

- 12月9日 会員卓話
大塚崇行会員
「小中学校の今後」
- 12月16日 卓話 笹木醤油
12代目 笹木吉郎様
「230年続く
企業の秘密」
- 12月23日 年次総会
クリスマス例会
(時間変更)

皆さん、こんばんは。本日もお集まりいただきありがとうございます。早いものでちょうど1カ月後はもうクリスマスという時期になりました。年の瀬ですね。夜もだいぶ冷え込んできました。そのような中、昨晩会長会が開かれ、次年度の副幹事が承認されました。長沼幹事、おめでとうございます。

12月23日のクリスマス例会では次年度の委員長・役員・理事の案が年次総会で発表となります。また近日中に奥川親睦委員長よりFAXでご案内の文書が送られると思いますが、クリスマス例会当日はアトラクションとして、物まね芸人をお呼びします。皆さま楽しみにしてください。

さて、今日は遺伝子についての話をしたいと思います。私たちの身体は、膨大な数の細胞からできています。体重60kgの成人であれば、体重1kgにつき1兆個と考えると、おおよそ60兆個の細胞があるそうです。その60兆個の細胞が調和して、それぞれ自立的な生命を営みながら、互いに助け合って組織を作り、臓器をつくらせ、個体を生かしているのですが、そもそもなぜ、そんなことができるのかと考えると、それらを可能にするための情報が体内に存在しているからだと、その情報の源が「遺伝子」なんですね。遺伝子は、1つ1つの細胞の中に核があって、その核の中に染色体があります。染色体のさらに中にあるのがDNAで、このDNAが遺伝子だそうです。人間の身体は、この遺伝子の指令に基づいて日々維持されているそうです。私たち人間が持っている遺伝情報は、1ページ1,000文字で1,000ページの百科事典なんと3,200冊にも匹敵するといわれるほど膨大な情報量で、60兆個の細胞の一つひとつの中の遺伝子の中に32億もの遺伝情報があると言われていたそうです。

1983年に世界で初めて高血圧を引き起こす原因となる酵素「レニン」の遺伝子解読に成功した、筑波大学の村上和雄名誉教授という方が今年4月13日に逝去されました。村上教授の代表的な著書『スイッチ・オンの生き方』（致知出版社）によると、ノーベル賞をもらう天才と普通の人の遺伝子レベルで見ると99.5%同じで、眠っている0.5%の遺伝子ををどうやってオンにするか、そういったことが書かれて

いて、「遺伝子が目覚めれば 人生が変わる」という副題がついています。著書の中から村上名誉教授の一文を引用させていただきます

これだけ微細で精緻な生命の設計図を一体誰がどのようにして描いたのかという驚嘆の思いにとらわれます。

もし何の目的もなく自然にできあがったのだとしたら、これだけ意味のある情報にはなりえません。まさに奇跡というしかなく、人間業をはるかに超えています。どうしても人間の力を超えた存在を想定しないわけにはいけなくなります。それがサムシング・グレート（大いなる何か）なのです。私たちの生命の大元には人間の力を超える不思議で偉大な力が働いて、それによって私たちは生かされているのです。

この村上教授は、分子生物学の観点から遺伝子研究の成果を発表してきただけでなく、実は遺伝子研究を通して、人が運命を切り開くための遺伝子のスイッチの入れ方を日々説かれていたようです。そのスイッチの入れ方というのが、実は『利他の精神と、徳や善行を積むこと』であるそうです。須田バスター会長もよく利他の精神と仰っていましたが、まさにロータリーの精神と同じなんですね。

本日は各委員長さんより部門セミナーの報告をしていただきます。また、来週はガバナー公式訪問の方針、活動内容、活動予定について発表していただきますのでよろしくお願いたします。また、新会員の入会式もごさい。新しい仲間が加わりますので、そちらも皆様楽しみにしててください。それでは本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

長沼 大策幹事

◇地区大会の御礼ということで、松本ガバナー・地区事務所から地区大会記念扇子と羊羹が届いています。こちらは来週のガバナー公式訪問の日に皆さまにお配りいたします。



◇来週はガバナー公式訪問です。少し早めにお越し



ROTARY CLUB OF AGEO

いただき食事を済ませてから例会に臨み、その後のクラブ協議会まで、どうぞよろしくお願いたします。

近況報告

宇多村 海児会員

忙しかった会長年度が

終わり、少しは時間ができかなと思っていたのですが、あまり変わらない日々を過ごしています。私は少年サッカーの指導者・コーチをしている関係で、サッカーの各種大会では審判をしています。子ども達に帯同、引率するだけでなく、審判ジャージを着てレフリーをする役目があるのですが、コロナ禍に延期になってた大会が中止にならず10月・11月になってたことで開催となりました。週5～6日は仕事、週末の土日は大会と、ほぼ休まずに過ごしてきました。家内からも少し休んだ方がいいのではと助言をいただき、11月第1週の3日間、広島でお世話になった創業者が退任するというごさいに行ってきました。実家があった山口県にも寄り、夫婦2人での旅行は十数年ぶり、いい息抜きになったかなと思っています。週末のサッカーは12月も続きそうですので、体に気をつけ乗り切っていただけたらと思います。今後とも仕事、ロータリー、サッカーにがんばっていきたくと思います。



ポールハリスフェロー授与

樋口 雅之 会員



結婚・誕生祝い

結婚記念日 おめでとうございます!

須田 悦正 会員

結婚祝いとは関係ないのですが、たまに我が家に遊びに来る息子の友達がいる、その子が私のことを「イケメンとまではいかないけど、お前の父ちゃんすごく恰好いいな」と言ってくれたそうです。イケメンと言ってくれても良かったのですが、とても嬉しくなりました。ありがとうございます。

お誕生日 おめでとうございます!

武重 秀雄 会員

11月1日で89歳になりました。私は長野県北佐久郡の造り酒屋で生まれました。あまり体が丈夫でなく、学校に行くまで乳母が付き添ってくれていました。体が弱かったので長生きできないかと思いましたが、学生時代は冬はスケートで県大会に出て、夏はテニスで旧制中学時代に優勝するなど体を鍛えて、あと何年かで100歳になれるそうです。これからも皆さん、よろしくお願いたします。

長沼 大策 会員

11月9日で54歳になりました。お祝いただきありがとうございます。



例会主題

部門セミナー報告

管理運営部門 門崎 由幸 委員長

7月10日、ZOOMで部門セミナーが開催されました。管理運営はクラブの土台である、各委員会と連携を計ってクラブの形を作っていくかなければならないのかなと思っております。コロナの影響で上期はなかなかリアル例会が開催できず、オンラインの活用も視野に入れてもいいのかなと、部門セミナーの頃は言われていました。会長の年度方針にある奉仕と親睦を念頭に置き、下期もクラブ運営に努めていきたいと思っております。

会員増強維持部門 大塚 崇行 委員長

8月23日、暑期中、ZOOMで部門セミナーが開催されました。基調講演は国際ロータリー第1地域ロータリーコーディネーター補佐、第2840地区



2017-18年度ガバナーの田中久夫さん（高崎RC）という方で、『ロータリークラブに入ろう』（幻冬舎）という本の著者でした。この本を樋口会員から借りていて読んでいて、基調講演はこの本の内容にかなり準じていました。ロータリーの会員になることは、どれだけ本人のためになるかどうか会員増強につながります。本人が入会して喜んでくれることが大切だよ、と導入にありました。新会員はロータリーに何を期待して入ってくるのか、またはロータリーの現状や将来をどう思っているのか、大量の新会員の増強した実例ということで、64名だった高崎RCを、田中さんが会長になった年に51名増強して115名にしたお話をされました。その中で、0人だった女性会員が7名増強したお話がありました。ロータリーに入って楽しんでもらうことが大事なので、公式訪問の日に1名入会されますが、新会員さんにもぜひ楽しんでもらいたいと思います。コロナが少し落ち着いてきましたので、皆さんにも会員増強の意識を常にもっていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いたします。

国際奉仕部門 大木 保司 委員

9月11日にZOOMで部門

セミナーが行われました。基調講演の講師はダイナマイトレボリューションカンパニーの千葉隆弥さんという方で、池上彰さんのテレビ番組など、パネリストや報道ドキュメンタリーなど数多くの番組制作・演出をされているディレクターでした。世界情勢の中で「日本人は知らないことを知らない」ということをお話しされました。あとは国際奉仕と国際交流で、コロナ禍、なかなかできていないのが実情ということでした。なお別件ですが、今年度ベトナムへの地区の奉仕で、須田さんの年度にお世話になった池田さんと連絡をとり、いま急ピッチで動いているところです。また報告したいと思います。



青少年奉仕部門 丹井 亮一 委員

10月29日にZOOMで部門

セミナーが行われ、インターアクト、ロータリーアクト、RYLA、青少年交換プログラム、ROTEXの内容がありました。インターアクトでは、当地区では23校の高校のクラブが活動しているとのことでした。地区としては中学校のインターアクトクラブを作ろうと動いているそうです。ロータリーアクトは2019年4月に規定審議会で国際ロータリーへの加入が認められ、2022年7月からRI人頭分担金を納めるとのことで、活動報告をパネルディスカッション形式の動画で配信されました。RYLAは、地域社会の次世代のリーダーがつながりアイデアを広げ行動を起こすきっかけを生み出す青少年指導者育成プログラムで、今年度は宮古島で行われ、大塚崇行会員と息子さんが参加されるそうです。青少年交換プログラムは現在コロナで中止されていて、2022年7月から再開されるそうです。



ロータリー財団部門 宇多村 海児 委員長

9月4日にZOOMで開催

されました。前半は10月24日のクラシック・また財団奨学・平和フェロー・学友委員さんの発表や、寄付額の実績についての報告等がありました。そして元外務省医務官が経験した海外の医療事情～女性医師の視点から～と題して、山王メディカルセンター 国際医療福祉大学臨床医学研究センターの中井呈子特任教授の特別公演がありました。



米山記念奨学部門 須田 悦正 委員長

9月18日、ZOOMで開催

され、米山梅吉さんのこと、奨学生とクラブの選考方法、学友について、学友のスピーチ、寄付についてなどのお話がありました。また11月20日にはカウンセラーがあり、アンケートや注意点など細かいお話がありました。尚、当クラブの海外枠の奨学生・荘君ですが、1月に出国手続きをして、4月に来日できるかどうか、くらいとのことでした。



- 齋藤修弘会長／深澤副会長／長沼幹事／門崎副幹事／
- 武重会員／大木保司会員／大塚崇行会員／島村会員／
- 藤村会員／須田会員／樋口会員／宇多村会員／
- 小田切会員／丹井会員／

会員数	35
出席数	20
欠席数	15
出席率	57.14%

